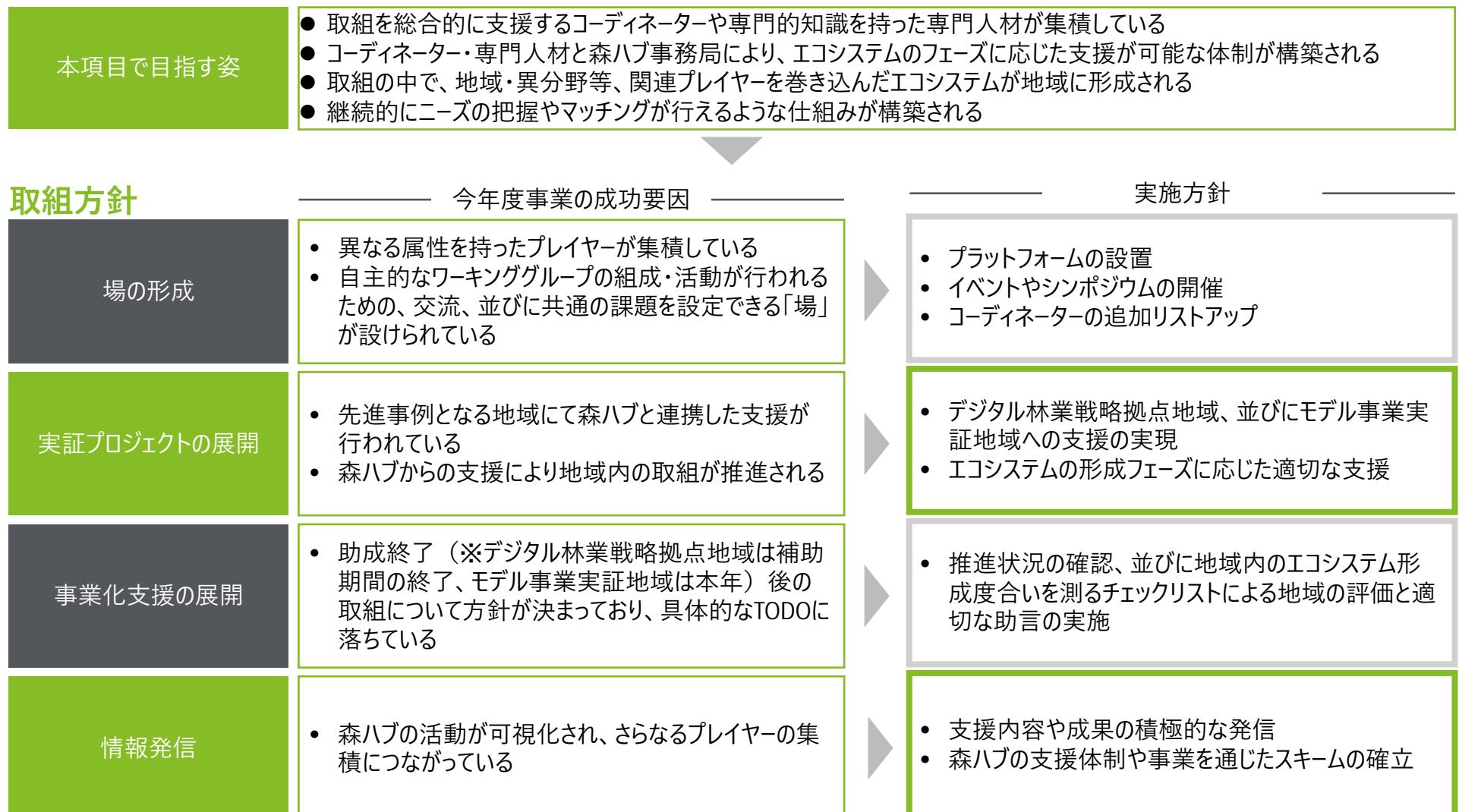


テーマ 4 : 森ハブ支援体制構築 (地域への伴走支援)

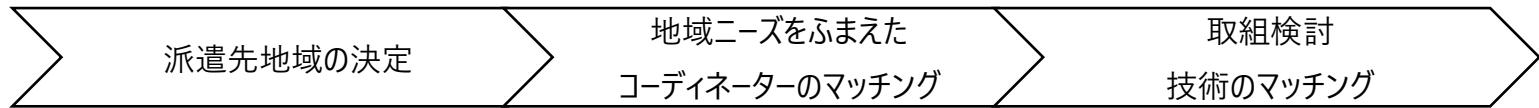
森ハブではコーディネーターの集積と地域とのマッチング、並びに連携した支援の実施により、林業のイノベーションエコシステムの形成を目指します

与件の整理



森ハブからの人材の派遣は、①プレイヤーの要望に応じた取組・支援、②森ハブとしての成功事例創出に向けた自主的な取組の2軸で現場へのアプローチを行います

森ハブ事務局の支援



デジタル林業戦略拠点からの
マッチング要請への対応

※選出された3地域に
関する支援を前提として記載

森ハブのサービス提供として、デジタル
林業戦略拠点に選出された各地
域・事業者から支援要請を募る

地域の意向をふまえ、必要な知識・
スキル・経験を持ったコーディネーター・
専門家のマッチングを支援する
コーディネーターは適切な人材を事務
局より地域へ提案することを前提と
するが、地域からバイナームでの指名
があった場合は、適切な人材かどうか
等検討を行ったうえで、可能な限
り調整する

地域内で検討がされている推進プラ
ンに沿って必要な支援・助言を行う

モデル事業実施地域

技術やコーディネーターに先行して地
域の選出を行い、取組課題や受入
状況の確認を行う

地域の選出を通じ、受入体制や地
域の意向などをふまえ、エコシステム
形成や技術導入にかかる計画策定
などを支援するため、コーディネーター
候補の人材像を検討し、マッチする
人材を選出する

コーディネーターや地域と連携し、取
組内容を詳細に協議したうえで、導
入技術を検証し、導入に着手する

評価指標を用いて地域の技術進歩やエコシステム形成を分析し、イベント等で情報発信していくことで、他地域への横展開を目指します

1. 初期仮説の検討

2. 取組内容・方針検討

3. 地域合意形成推進

4. 取りまとめ

支援地域の分析や横展開の検討

—地域分析・横展開に必要なステップ（令和3年度報告書より抜粋）—

—対応方針—



ノウハウの体系化・類型化

- 取組みステップの整理
- 横展開できる技術・ネットワークの整理
- 普及に必要となるデータの取得（費用対効果、有益性など）



普及展開に向けたアプローチ

- 先進PJの情報発信
- 準先進地域候補への声掛け・事例紹介



個別地域支援

- ニーズのヒアリング・課題の整理・解決策の提示
- マッチングの実施
- 既存技術の導入支援



- デジタル林業戦略拠点、並びにモデル事業実施地域での取組、森ハブの支援内容を取りまとめ、イベント等で発信を行う
- 事業内にて作成した資料等は、地域への事前確認の上、できる限り公開するものとし、他地域の参考となる情報発信を心掛ける



- 森ハブ参画地域を対象にアンケート調査等を行い、次年度以降のモデル事業実証地域の芽を探し、アプローチを行う
- 森ハブ参画プレイヤーの中で自主的に活動が行われるWGの動向をチェックし、興味関心が高い地域や技術の傾向を把握し、イベントやプラットフォーム運営の方針に反映させる



- 上記、アンケート調査の結果等をふまえ、次年度以降のモデル事業実証地域の候補地に対し、ヒアリング等追加調査を行い、ニーズを把握する
- 次年度以降のモデル事業実証地域の選定やデジタル林業戦略拠点への応募に向け、情報提供等、地域のニーズに応じた事務局支援を実施する